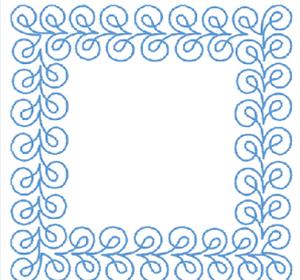
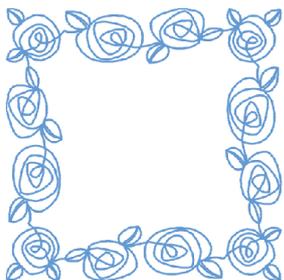
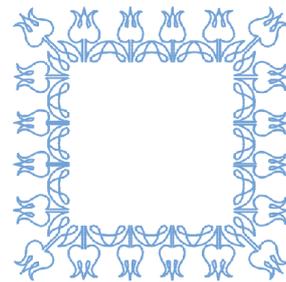
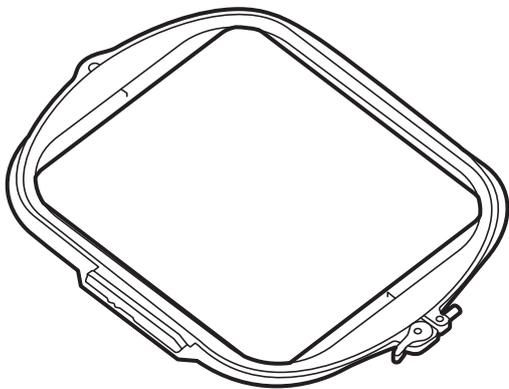


アップグレードキット 1

取扱説明書

刺しゅう機付コンピューターミシン

EMW30 シリーズ



● ご使用になる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。

目次

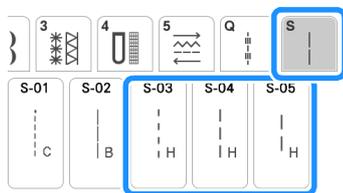
目次.....	1
実用ぬいと文字 / 飾りぬい	2
刺し子風の模様.....	2
ガイドラインの形状.....	2
マイイラスト機能を使って作成した模様の振り幅.....	2
ジグザグカウチング.....	2
■ ジグザグカウチングの準備をする	3
■ ジグザグカウチングをぬう	4
刺しゅう	5
272mm × 272mm の刺しゅう枠に対応.....	5
カウチング模様を刺しゅうする.....	5
■ カウチング刺しゅうの準備をする	5
■ カウチング模様を刺しゅうする	7
キルトサッシ	8
■ キルトサッシのデータを作成する	8
■ キルトサッシを刺しゅうする	9
文字模様を一括編集する	12
カラーシャッフル機能でお気に入り登録をする	13
刺しゅう時に自動で押えを下げる	13
My Design Center (マイデザインセンター).....	14
追加模様.....	14
枠スタンプ	14
飾り模様の面ぬい設定	14
デザイン範囲の選択方法の追加.....	14
その他の機能	15
ミシンの使い方動画.....	15
モニタリングアプリ.....	15
■ アプリをインストールする	15
■ モニタリング	15

本書は追加またはアップグレードされた機能について説明しています。本書をお使いになる前に、「インストールガイド」の手順に従ってお手持ちのミシンをアップグレードしてください。本書に記載されている機能をお使いになる前に、ミシンに付属の取扱説明書をお読みください。本書に掲載されている製品の画面は、実際のものとは異なる場合があります。

実用ぬいと文字 / 飾りぬい

刺し子風の模様

刺し子風の実用模様が3点追加されました。模様は微小なステッチの集まりで作られています。上糸にナイロン透明糸や布と同じ色の糸を使用して模様をぬうと、手ぬいのような風合いに仕上がります。下糸に布地と異なる色を使用すると、模様が際立ちます。

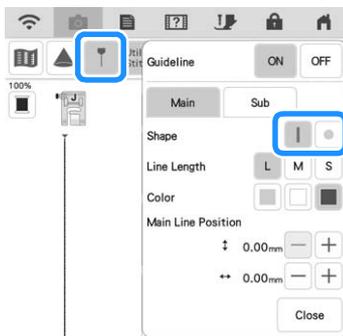


お願い

- 作品を作る前に試しぬいをしてください。
- 14番の針を使用すると、ほとんどの布地と糸できれいな仕上がりになります。
- 布地の表に下糸を多く出したいときは、糸調子を強くしてください。

ガイドラインの形状

ガイドラインの形状を線または点から選択することができます。



マイラスト機能を使って作成した模様の振り幅

マイラスト機能で作成した実用模様を呼び出して、振り幅を7mmまで拡大できるようになりました。

ジグザグカウチング

毛糸を使って、飾り模様を簡単にぬうことができます。

注意

- 推奨する毛糸の太さは並太タイプ、または4番 (④) です。細すぎる毛糸や太すぎる毛糸、または特別な形状 (平ら、毛足が長い) の毛糸、2本以上の毛糸を使用すると、きれいに仕上がらなかったり、けがや故障の原因となったりします。

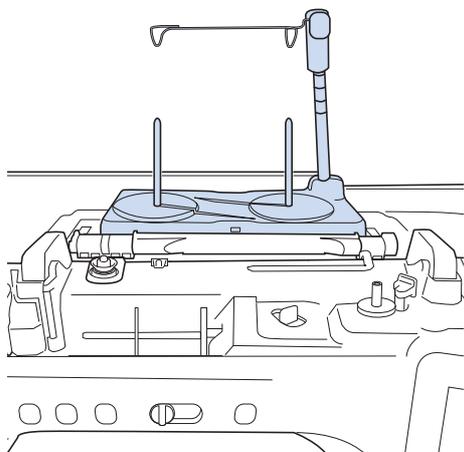
お願い

- 作品を作る前に試しぬいをしてください。
- 伸縮性のある布地や薄い布地、織りが粗い布地、縮みやすい布地をぬうときは、接着芯を使用してください。

■ ジグザグカウチングの準備をする

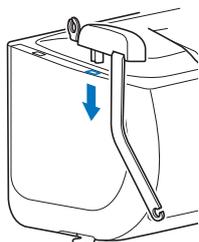
1 ミシンに糸たてスタンドを取り付けます。

取り付けるとき、アンテナは伸ばさないでください。



* 糸たてスタンドの取り付けは、取扱説明書（実用編）の「糸たてスタンドを組み立てる」を参照してください。

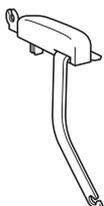
2 ミシンの左上部にある穴に、ジグザグカウチング用糸ガイドを差し込みます。



お願い

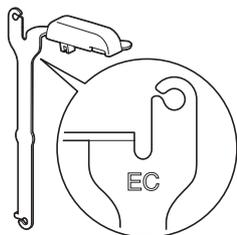
• 糸ガイドには、カウチング実用ぬい用とカウチング刺しゅう用の2種類あります。部品の形状を確認してから、用途に応じたガイドをミシンに取り付けてください。

①



① カウチング実用ぬい用糸ガイド

②



② カウチング刺しゅう用糸ガイド

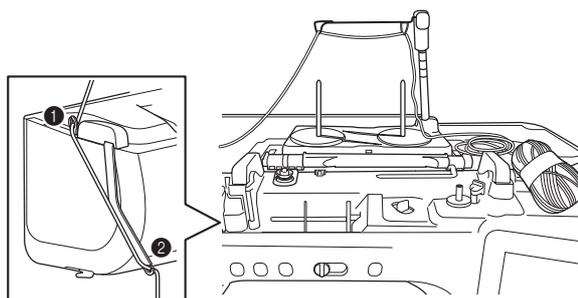
3 を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてから、押えレバーを上げます。

4 デュアルフィード押えの押え足を取り外し、デュアルフィード用カウチング押えをミシンに取り付けます。

* デュアルフィード押えの取り付けは、取扱説明書（実用編）の「デュアルフィード押えを取り付ける」を参照してください。



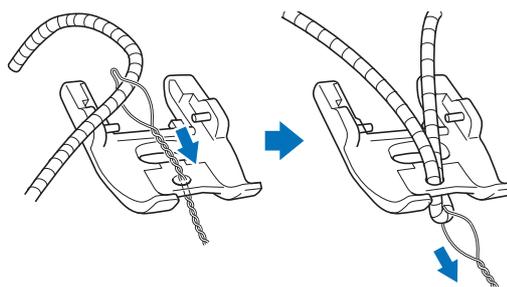
5 毛糸をアンテナの糸かけに通し、糸ガイドの①から②へ通します。



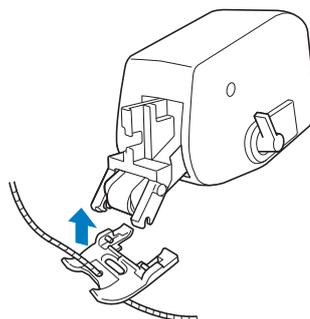
お願い

• 作業中に毛糸がからまないように注意してください。

6 毛糸をデュアルフィード用カウチング押えに通します。毛糸を紐通しの輪に通し、紐通しをデュアルフィード用カウチング押えの穴の上から下に通します。



7 デュアルフィード用カウチング押えを、以下のようにデュアルフィード押えに取り付けます。



- 8 毛糸を 10cm ほど、ミシンの後ろに引き出します。
- 9  を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。
- 10 ミシンに上糸を通します。

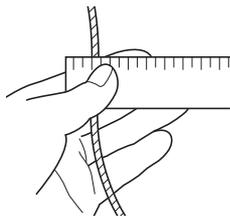


お願い

- 上糸通しに糸たてスタンドを使用しないでください。糸が毛糸にからまるおそれがあります。

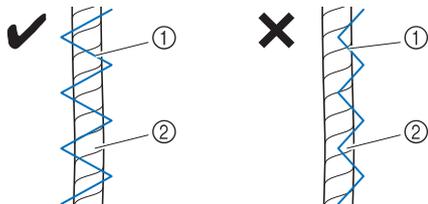
■ ジグザグカウチングをぬう

- 1  (1-10) を選択します。
- 2 毛糸の幅を測り、毛糸の幅に合わせて振り幅を設定します。



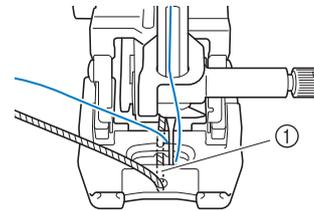
お願い

- 毛糸を覆うだけの十分な振り幅があることを確認してください。
- カメラビューを確認しながら、振り幅を調整することができます。取扱説明書（実用編）の「画面で針位置を確認する」を参照してください。



- ① ジグザグ模様
- ② 毛糸

- 3 プーリーを回して、針をぬい始めの位置に合わせます。毛糸の右側からぬい始めます。
- 4 毛糸が、デュアルフィード用カウチング押えの裏のミゾにまっすぐ通っていることを確認し、押えを下げます。



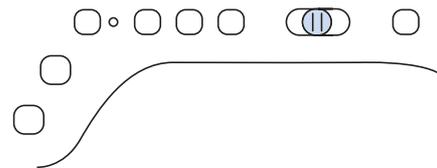
① ミゾ



お願い

- 毛糸がぴんと張らないように、毛糸玉または毛糸の束から適度な量の毛糸を引き出してください。

- 5 ぬう速さを中速に設定します。



- 6 スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。

* 両手で布地を軽く押さえて、ぬい方向を調整します。



お知らせ

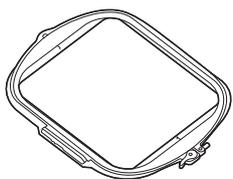
- 別売のマルチ機能フットコントローラーを [Single Stitch (1 針ぬい)] に設定すると、鋭角をぬうときに便利です。取扱説明書（実用編）の「マルチ機能フットコントローラー（別売）を設定する」を参照してください。
- ピボットも両手で布を回転させるときに便利です。
- ガイドラインマーカーをオンにすると、ジグザグカウチングをまっすぐにぬいやすくなります。

刺しゅう

- 内蔵の刺しゅう模様 75 点が追加されました。詳しくはアップグレードキット 1 の模様一覧を参照してください。

272mm × 272mm の刺しゅう枠に対応

272mm × 272mm の刺しゅう枠が使用できるようになりました。



刺しゅう枠に布地を張る方法については、取扱説明書（刺しゅう編）の「刺しゅう枠（LL）（408mm × 272mm）に布地を張る」を参照してください。

カウチング模様を刺しゅうする

刺しゅう用のカウチング模様 40 点が追加されました。詳しくはアップグレードキット 1 の模様一覧を参照してください。

毛糸を使ってカウチング模様を刺しゅうすることができます。

⚠ 注意

- 推奨する毛糸の太さは並太タイプ、または 4 番 (4) です。細すぎる毛糸や太すぎる毛糸、または特別な形状（平ら、毛足が長い）の毛糸、2 本以上の毛糸を使用すると、きれいに仕上がらなかったり、けがや故障の原因となったりします。

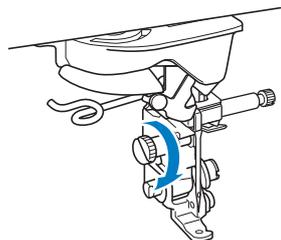


お願い

- 作品を作る前に、実際に使用する布と同じ布地で、試しぬいをしてください。

■ カウチング刺しゅうの準備をする

- 1 ミシンの電源を切ります。刺しゅう機を取り付けます。
- 2 刺しゅう用の下糸を巻いたボビンをミシンにセットします。
- 3 ミシンの電源を入れます。
- 4  を押します。
- 5  を選択して、カテゴリー内からお好みの模様を選択します。
 を押します。
- 6  を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックしてから、押えレバーを上げます。
- 7 カウチング刺しゅう押え < Y > を取り付けます。

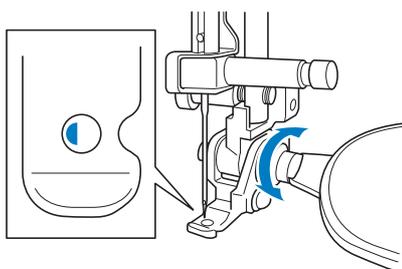


⚠ 注意

- カウチング刺しゅう押え < Y > を使うときは、ミシンが刺しゅうモードになっていることを確認してください。刺しゅうモードでない場合、針がカウチング刺しゅう押えにあたり、針が折れてけがをするおそれがあります。

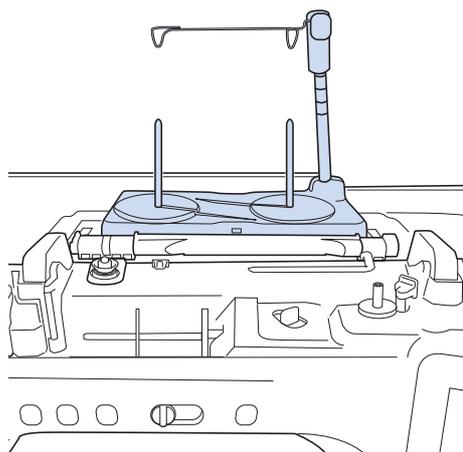
- 8** プーリーを回して、カウチング刺しゅう押え<Y>の穴の左半分の位置に針が落ちることを確認します。

針が左半分の位置に落ちない場合は、マルチドライバーを使ってカウチング刺しゅう押え<Y>のネジを回し、刺しゅう押えの位置を調整してください。手前にネジを回すと、刺しゅう押えは右に動きます。奥に向かってネジを回すと、刺しゅう押えは左に動きます。調整後はプーリーを回し、針が押えに当たらないことを確認してください。



- 9** ミシンに糸たてスタンドを取り付けます。

取り付けるとき、アンテナは伸ばさないでください。



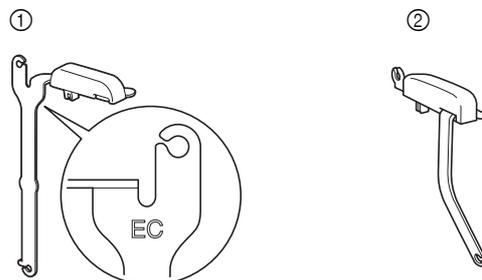
* 糸たてスタンドの取り付けは、取扱説明書（実用編）の「糸たてスタンドを組み立てる」を参照してください。

- 10** ミシンの左上部にある穴に、カウチング刺しゅう用糸ガイドを差し込みます。



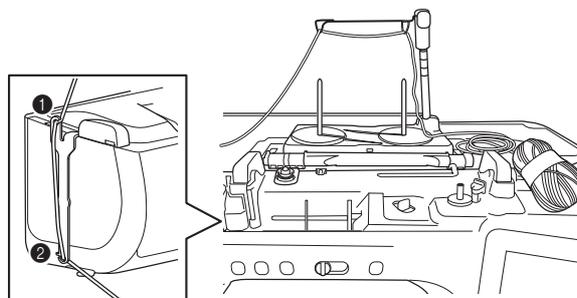
お願い

糸ガイドには、カウチング実用ぬい用とカウチング刺しゅう用の2種類あります。部品の形状を確認してから、用途に応じたガイドをミシンに取り付けてください。



- ① カウチング刺しゅう用糸ガイド
② カウチング実用ぬい用糸ガイド

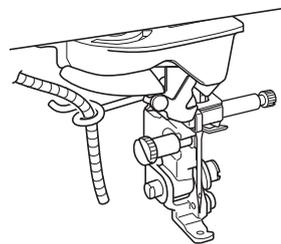
- 11** 毛糸をアンテナの糸かけに通し、糸ガイドの①から②へ通します。



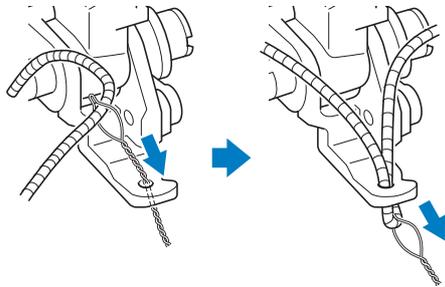
お願い

毛糸がぴんと張らないように、毛糸玉または毛糸の束から適度な量の毛糸を引き出してください。
作業中に毛糸がからまないように注意してください。

- 12** 毛糸をカウチング刺しゅう押え<Y>のガイドへ通します。



- 13** 毛糸をカウチング刺しゅう押え<Y>へ通します。
毛糸を紐通しの輪に通し、紐通しをカウチング刺しゅう押え<Y>の押え足の穴の上から下に通します。毛糸は手前に引き出します。



お知らせ

- 押えの下に紙を敷くと、紐通しをカウチング刺しゅう押え<Y>の穴にスムーズに通すことができます。

- 14** を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

- 15** ミシンに上糸を通します。

お願い

- 上糸通しに糸たてスタンドを使用しないでください。糸が毛糸にからまるおそれがあります。

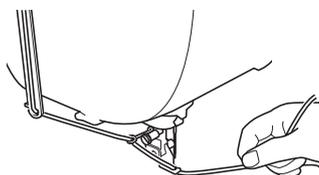
お知らせ

- 上糸に毛糸と同じ色を使うと、きれいに仕上がります。

- 16** 押え上下スイッチを2回押して押えを上げてから、刺しゅう枠を刺しゅう機に取り付けます。

■ カウチング模様を刺しゅうする

- 1** を押します。
- 2** 毛糸を手前に20cmほど引き出します。
- 3** 手前で毛糸を持ったまま、スタート/ストップスイッチを押します。



注意

- 毛糸を上引っ張ると針に引っかかり、針折れの原因となります。毛糸が針に引っかからないように注意してください。

お願い

- 刺しゅうの前に、毛糸、上糸、下糸が十分にあることを確認してください。
- 毛糸が糸ガイドにスムーズに通ることを確認してください。毛糸がぴんと張らない程度に、毛糸玉から毛糸を引き出してください。
- 結び目のない毛糸を使用してください。

- 4** 数針ぬい終わったら、手から毛糸を放します。

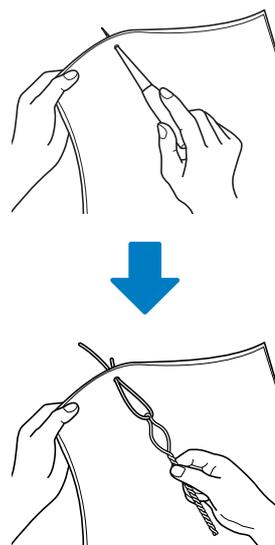
→ 刺しゅうが終わると、ミシンは自動で糸を切って停止します。

お知らせ

- 高密度の毛糸を使用すると、上糸調子が乱れる場合があります。そのときは、設定画面の [Embroidery Foot Height (刺しゅう押えの高さ)] を1mm程度高くすると改善できる場合があります。

- 5** 毛糸を20cmほど残して切ります。

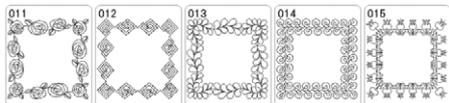
- 6** 目打ちやタペストリー針などで布地に穴を開け、紐通しで毛糸を布裏へ引き出します。



- 7** 毛糸が抜けないように端を結び、余った毛糸をはさみで切ります。

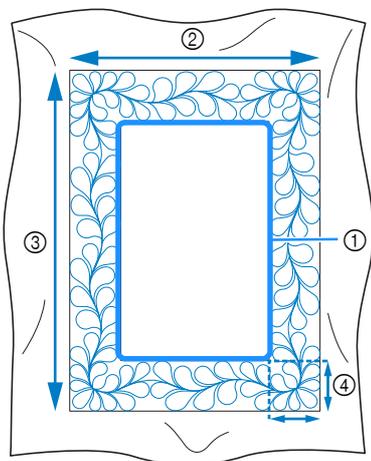
キルトサッシ

キルトサッシ模様 5 点が追加されました。



■ キルトサッシのデータを作成する

- 1 刺しゅうするキルトサッシの内周を、布地にチャコペンで描きます。
刺しゅうするキルトサッシの大きさを測ります。



- ① チャコペンで描いた内周（位置合わせに使用します）
- ② 幅
- ③ 高さ
- ④ キルトサッシ模様の帯幅

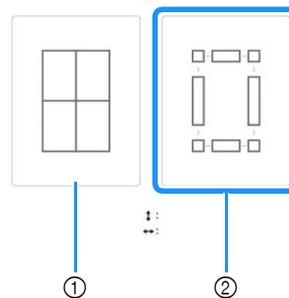
📖 お知らせ

- 布地は、刺しゅう枠の外周から必ず 10cm 以上の余裕をもって切ってください。

- 2  を押します。

- 3 刺しゅうしたい模様を選んで、**Set** を押します。

- 4 模様の分割方法を選択します。ここでは [Semi-Auto split quilt sash (セミオート分割)] を選択しています。



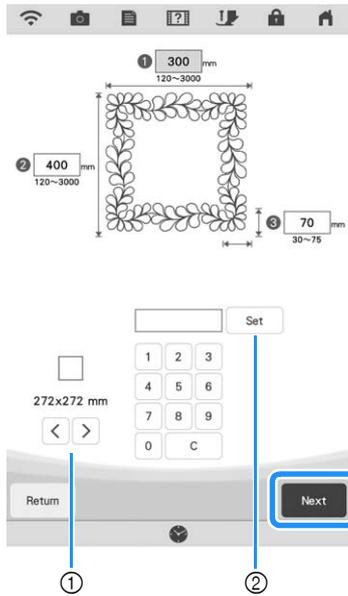
- ① **Auto split quilt sash (自動分割)**
模様の位置合わせは内蔵カメラで行います。最大で 76cm × 50cm のキルトサッシを作成することができます。
作成方法については、取扱説明書（刺しゅう編）の「キルトサッシ模様を刺しゅうする」を参照してください。
このキーを押した後に表示される画面で、使用する刺しゅう枠を選択します。
- ② **Semi-Auto split quilt sash (セミオート分割)**
布地に刺しゅう枠を張り直しながら模様をつなげて刺しゅうするので、最大で 3m × 3m のキルトサッシを作成することができます。
模様の位置合わせは手動で行います。



💡 お願い

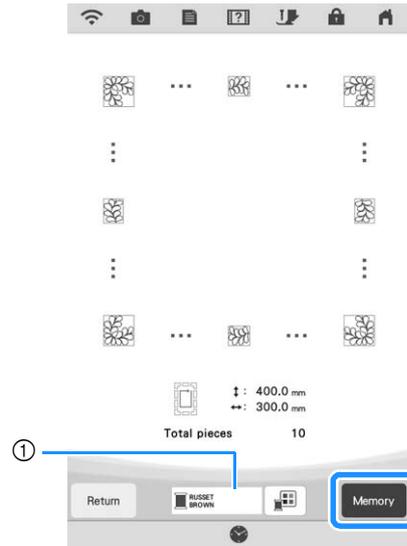
- 作成できる作品の大きさは、選択した分割方法によって異なります。[Auto split quilt sash (自動分割)] のレイアウトを確認して希望通りにならない場合は、[Semi-Auto split quilt sash (セミオート分割)] を選択してください。

- 5** 使用する刺しゅう枠のサイズとキルトサッシのサイズを設定して、**Next** を押します。



- ① **<** または **>** を押して、刺しゅう枠のサイズを選択します。
- ② 幅 **1**、高さ **2**、キルトサッシ模様幅 **3** を設定して、**Set** を押します。

- 6** 模様を確認し、**Memory** を押して保存します。

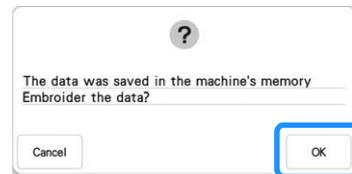


- ① 糸色は変更することができます。

お知らせ

- 模様が大きいときは、省略表示されます。

- 7** メッセージが表示されたら **OK** を押します。



→ 内蔵メモリーから模様を選択する画面が表示されます。

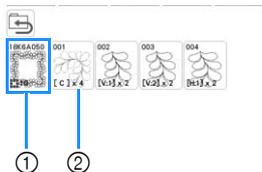
■ キルトサッシを刺しゅうする

- 1** 内蔵メモリーの模様選択画面で、保存した模様を選択します。

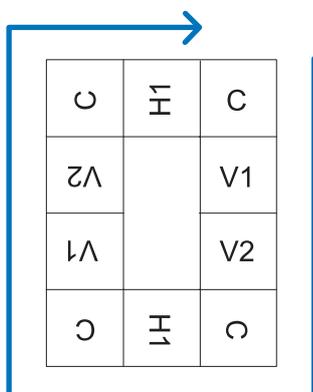


→ キルトサッシ全体のサムネイルと分割模様サムネイルが表示されます。

- 2** ここでは画面の指示に従ってキルトサッシを刺しゅうするため、キルトサッシ全体のサムネイルを選択します。**Set** を押します。



- ① このキーを押すと、画面の指示に従ってキルトサッシを刺しゅうできます。左下の数字はキルトサッシの分割模様の総数を示しています。
- ② 目視で合わせながら刺しゅうするときには、分割模様を押します。分割模様の符号からどこで何回刺しゅうするのか確認することができます。

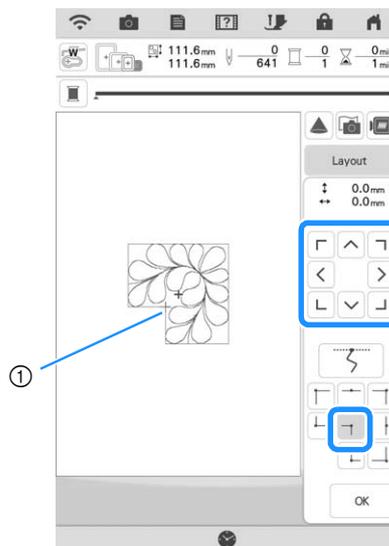


C : 角
 V1 : 縦の最初の模様
 V2 : 縦の2番目の模様
 H1 : 横の最初の模様

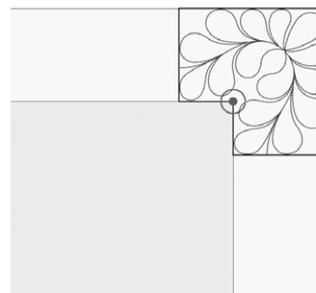
- 3** キルトサッシの右上の角が縫製範囲に入るようにして布地を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミシンに取り付けます。

- 4** 右上の模様の位置を合わせます。

 を選択すると、針が内角に移動します。移動キーで、布地に引いた右上の角とプロジェクターが投影する内角を合わせます。



① 内角



お願い

- プロジェクターで投影する針落ち位置が実際と異なる場合は、カメラ針落ち点表示設定を行うと、症状が改善されることがあります。詳しくは、取扱説明書（実用編）の「内蔵カメラで針位置を設定する」を参照してください。

お知らせ

- 必要に応じて、引いた線に沿うように模様を回転させてください。

- 5** **OK** を押して縫製画面を表示します。

- 6** スタート/ストップスイッチを押して、最初の模様をぬいます。

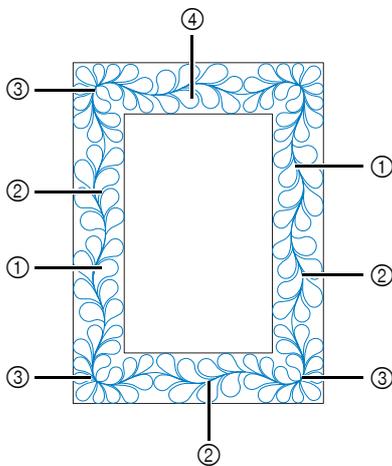
- 7** ぬい終わって次のメッセージが表示されたら、**OK** を押します。



→ 次に刺しゅうする模様が表示されます。

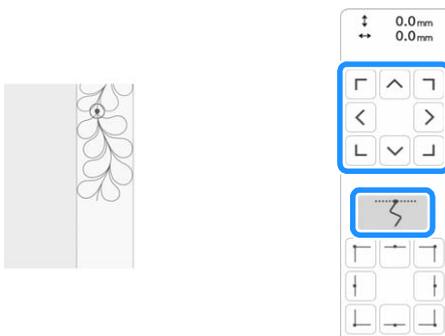
- 8** 画面の指示に従って、模様ごとに位置合わせをして刺しゅうします。

ぬい始めの位置合わせや模様の回転、刺しゅう枠の張り直しが必要なときは、メッセージが表示されます。



- ①** 辺の模様を刺しゅうするとき

移動キーで、プロジェクターが投影する始点と前の模様の終点を合わせ、**OK** を押します。



お願い

- 正確な位置に始点を合わせるため、プーリーを手前に回して針落ち位置を確認してください。針位置を確認した後、必ず針上下スイッチを押して針を一番高い位置に戻してください。

引いた線に角が合うように模様を回転させ、**OK** を押します。

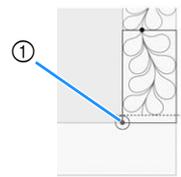


- ②** 角の直前にある模様を刺しゅうするとき

移動キーで、プロジェクターが投影する始点に前の模様の終点を合わせ、**OK** を押します。

左下の点（次に刺しゅうする模様の内角）を、引いた線の左下の角に合わせます。模様の角度が合わない場合は、回転させてください。模様の長さが合わない場合は、左下の点が引いた線の左下の角に合うように模様を拡大または縮小します。

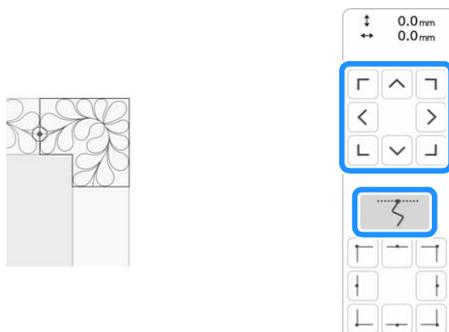
調整が終わったら、**OK** を押します。



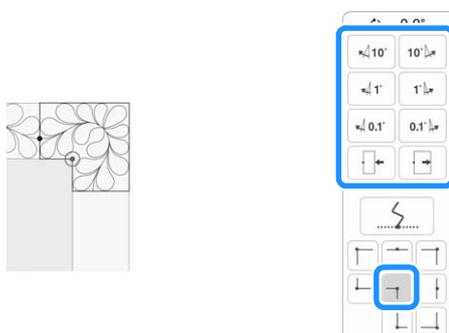
- ①** 次に刺しゅうする模様の内角

③ 角の模様を刺しゅうするとき

布地を反時計回りに90度回転させて、刺しゅう枠を張り直してから、刺しゅう枠をミシンに取り付けます。移動キーで、プロジェクターが投影する始点と前の模様の終点を合わせ、**OK**を押します。



次に、模様の内角を引いた線の角に合わせます。

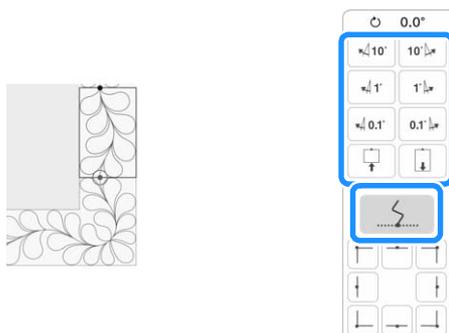


④ 最後の辺の模様を刺しゅうするとき

移動キーで、プロジェクターが投影する始点と前の模様の終点を合わせ、**OK**を押します。

次に、模様の終点を最初の模様の始点に合わせます。模様の手が合わない場合は、回転してください。模様の長さが合わない場合は、模様を拡大または縮小します。

調整が終わったら、**OK**を押します。



文字模様を一括編集する

文字模様を個別に選択し、一括編集できるようになりました。

- 1 **Edit** を押して編集画面を表示し、**T** を押します。



編集画面の表示方法については、取扱説明書（刺しゅう編）の「キーのはたらき」を参照してください。

- 2 以下のキーのいずれかを押します。



- 3 **A|B|C** を押します。

- 4 選択したい文字模様を押します。選択を解除するときは、もう一度その文字模様を押します。



- 5 編集が終わったら、**OK** を押します。

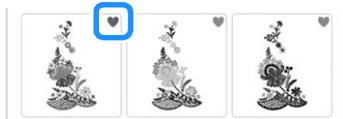
カラーシャッフル機能でお気に入り登録をする

カラーシャッフル機能を使って作成した配色のうち、お好みの配色をお気に入りに登録することができます。

登録した配色を比較するとき便利です。

- サムネイル右上の♥を押して、お好みの配色をお気に入りに登録します。

* お気に入りを解除する場合は、もう一度♥を押します。



お知らせ

- お気に入りに登録できる配色は、9個までです。

- ♥ Favorite を押して、お気に入り画面を表示します。

- お好みの配色を選択します。

* ✕ を押すと、お気に入りが解除されます。



- ◀ ▶ を押して、お気に入りに登録した他の配色を表示します。

* Cancel を押すと、お気に入り画面に戻ります。



刺しゅう時に自動で押えを下げる

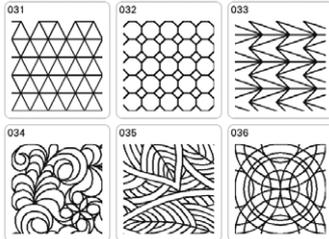
ミシンの設定画面で [Embroidery Foot Auto Down (刺しゅう押え自動下げ)] を [ON] に設定すると、押えが上がっていても、スタート/ストップスイッチを押したときに自動で押えが下がり、刺しゅうを始めることができます。



My Design Center (マイデザインセンター)

追加模様

飾り模様ぬい 6 点が追加されました。



枠スタンプ

を押して、 したときに表示される、[Frame embroidering areas (枠サイズ)] に以下のサイズが追加されました。



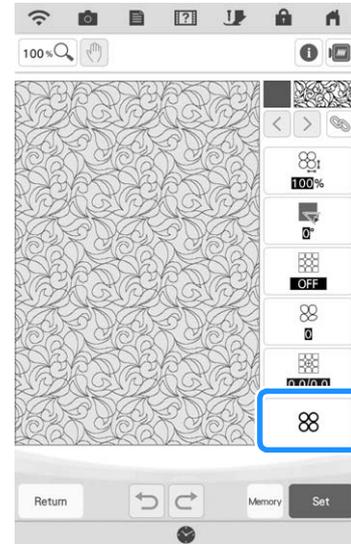
枠スタンプはオフセット値を設定することができます。アウトラインをモチーフ模様にする場合は、出来上がりが少し大きくなります。モチーフの幅に合わせて、枠スタンプのサイズを調整してください。



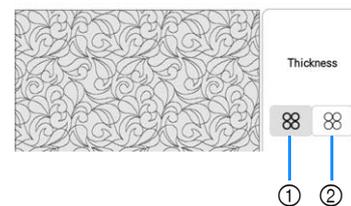
飾り模様の面ぬい設定

重ねぬいの回数を変えることで、飾り模様の線を太く見せたり、細く見せたりすることができます。

1 を押します。



2 または を押します。



- ① 飾り模様ぬい
- ② 飾り模様ぬい (細)

デザイン範囲の選択方法の追加

(選択キー) を押したときに、デザインの範囲を選択する方法が追加されました。

	自由曲線選択	描いた曲線の中にあるオブジェクトがすべて選択されます。
	自動選択	タッチした模様が選択されます。自動選択を使うと、線を 1 本またはドーナツ型の模様の外側のみなどを選択することができます。
	全選択	すべての模様が選択されます。

その他の機能

ミシンの使い方動画

4本の動画が追加されました。取扱説明書（実用編）の「使い方動画を再生する」を参照してください。

モニタリングアプリ

お手持ちのスマートデバイスにモニタリングアプリをインストールし、ミシンと無線LANで接続することで、スマートデバイスで刺しゅう時のミシンの動作状況を確認できます。ミシンが停止したときに通知を受け取ることもできます。

■ アプリをインストールする

- 1 お手持ちのスマートデバイスで以下のQRコードを読み取り、GooglePlay™ または App Store にアクセスします。



Android™: <http://s.brother/cmmsgpxi>



iOS: <http://s.brother/cmssmaxpi>

- 2 刺しゅうモニタリングアプリ [My Stitch Monitor] をインストールします。



My Stitch Monitor

お知らせ

- GooglePlay または AppStore で [My Stitch Monitor] を検索して、アプリをダウンロードしてインストールすることもできます。
- アプリのサポート情報については、以下のウェブサイトにアクセスしてください。
<http://s.brother/cpdad/>
- ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名および商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

■ モニタリング

お知らせ

- アプリは随時更新されます。以下の説明は、実際の画面や操作とは異なる場合があります。

- 1 ミシンを無線LANに接続します。
* 取扱説明書（実用編）の「無線LAN接続機能」を参照してください。
- 2 お手持ちのスマートデバイスとミシンが同じネットワークに接続していることを確認します。
- 3 スマートデバイスの [My Stitch Monitor] をタッチして、アプリを起動します。
- 4 アプリに表示される手順に従って、アプリとミシンを接続します。
* ミシンの設定画面で [Machine name (マシン名)] の横に表示される名前を選択してください。
→ ミシンの動作状況を確認できるようになります。

アフターサービス

製品サポートについては、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にお問い合わせください。

■ お客様相談室（ミシン119番）

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は
お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室（ミシン119番） Tel: 0570-061-134

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:30

休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室（ミシン119番）は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
ミシン背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室（ミシン119番）」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<http://www.brother.co.jp/>

ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://s.brother/cpdad/>

